

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第7部門第4区分
【発行日】平成17年7月7日(2005.7.7)

【公開番号】特開2000-4569(P2000-4569A)

【公開日】平成12年1月7日(2000.1.7)

【出願番号】特願平10-164637

【国際特許分類第7版】

H 02 K 33/06

【F I】

H 02 K 33/06

【手続補正書】

【提出日】平成16年11月10日(2004.11.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

又、組立時に交点C_xのばらつきによって、振幅が大きくなり過ぎた場合に騒音が発生したり、ばね寿命が劣化されてしまうのは、軸振れを伴う磁気回路の変位動作にあってダンパ38と当接される中心軸34の抜け止め部34aの形状(ダンパ38との当接面積が大きい断面形状が矩形の鍔部になっている)が要因となっており、この部分の構造上の改良も望まれている。